

【科目名】臨床評価実習		【担当教員】佐藤厚、阿志賀大和、藤間、高橋圭三、大平、倉智、伊林 (メールアドレス) a.satou@nur.ac.jp (オフィスアワー) 平日木曜以外						
【授業区分】専門分野（臨床実習）	【授業コード】 5-32-1245-0-1							
【開講時期】3年次 後期	【選択必修】必修							
【単位数】4	【コマ数】80							
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 1. この科目を履修するには、それまでの必修科目すべてを修得していること。 2. 学外実習を実施するには、学外実習前の実習前試験に合格すること。 (受講のルールに関わる情報・予備知識) 実習施設へ行く前に、身だしなみを整えること。不適切な身だしなみと判断された学生については実習を認めないことがある。実習終了後は、症例報告会を行うので、必要な要約及び発表スライド等の準備を行うこと。実習中に事故・事件その他問題が起きた場合は、直ぐに実習先のスタッフ及び本学へ連絡すること。								
【講義概要】 (目的) 臨床評価実習は、学生毎に 1 施設の医療機関に赴き、臨床実習指導者のもと、症例に即した評価方法の選択、評価手技の実施を行い、評価をもとに抽出された問題点から障害像を把握する過程を学ぶことを目的としている。 (方法) 3年次に 4 週間の日程とし、3 週間は医療機関を中心とした施設に出向き、臨床実習指導者のもとで実習を行う。1 週間は学内学習を行い、専任教員のもと症例検討等のセミナーを行う。								
【一般教育目標(GIO)】 ・ 言語聴覚士として、適切な評価を行い障害像を的確に捉える。								
【行動目標(SBO)】 患者に対し適切な評価方法を選択し、適切な評価を行い、患者の障害像を的確に捉える。								
【教科書・リザーブドブック】 実習の手引き								
【参考書】 実習先に応じて指導する。								
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) ・ 成績評価基準は本学学則規定の G P A 制度に従う。 ・ 臨床評価実習の学外実習成績と学内での成績（実習前試験、実習後の提出書類、症例報告会の内容など）を総合的に判断し成績判定を行う。								
【達成度評価】	試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	10	5		25	60			100 点
評 取り込む力・知識	10	5		5	20			40

平成 26～28 年度入学者用

価値指標	思考・推論・創造の力				10	20			30
	コラボレーションとリーダーシップ								
	発表力				10				10
	学修に取り組む姿勢					20			20

【授業日程と内容】

回数	講義内容	授業の運営方法	学修課題(予習・復習)	時間(分)
1	オリエンテーション 評価実習での注意事項、学習内容、提出書類、事故防止・感染対策等、実習前試験			
1 週目	臨床評価実習 言語聴覚療法の見学、初期評価	1 週目		
2 週目	臨床評価実習 言語聴覚療法の見学、初期評価、他部門情報収集	2 週目		
3 週目	臨床評価実習 言語聴覚療法の見学、症例報告書作成、	3 週目		
4 週目	臨床評価実習 言語聴覚療法の見学、症例報告書作成、最終発表、総括	4 週目		
3	症例報告会			

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。